

# 中小企業景気動向調査

(2025年4~6月調査)

vol.188

(2025年7月15日発行)

目次

- 全業種業況概要(業況～設備の状況) ..... 1
- 業種別業況の推移 ..... 4
  - 製造業/卸売業/小売業 ..... 4
  - 建設業/サービス業/不動産業 ..... 5
- 特別調査(5年後(2030年)以降を見据えた中長期的な経営について) ... 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に Webアンケートを実施し ご回答いただいたものです。

●調査時点

2025年6月初旬

●調査対象時期

2025年4月～6月実績及び  
2025年7月～9月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	50	33.3	33	66.0
卸売業	13	8.7	5	38.5
小売業	25	16.7	15	60.0
建設業	24	16.0	15	62.5
サービス業	25	16.7	14	56.0
不動産業	13	8.7	7	53.8
合計	150	100.0	89	59.3

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)  
B=ややA  
C=普通(変わらず・適正)  $D.I = A \cdot B - D \cdot E$   
D=ややE  
E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業の全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益ともに改善

金沢信用金庫が行った中小企業89社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内150社・回答率59.3%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は0.0(前期▲16.7)と16.7%改善した。

業種別では、卸売業が60.0(前期0.0)と60.0%ほか、小売業が▲20.0(前期▲61.5)と41.5%、建設業が13.3(前期0.0)と13.3%、サ

ービス業が28.6(前期▲10.5)と39.1%、不動産業は28.6(前期▲20.0)と48.6%改善したが、製造業は▲24.2(前期▲13.3)と▲10.9%悪化し、全産業ベースでの来期予想DIは6.7と6.7%改善すると予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは8.0(前期▲17.8)と25.8%改善し、収益判断DIも▲11.2(前期▲24.7)と13.5%改善した。来期予想では、売上額判断DIが2.2と悪化、収益判断DIは0.0と改善すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も

多かった回答は「人手不足」(全回答中38.2%)で、以下、「売上の停滞・減少」(全回答中36.0%)、「利幅の縮小」(全回答中31.5%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「人材を確保する」(全回答中39.3%)で、以下、「経費を節減する」(全回答中36.0%)、「販路を広げる」(全回答中28.1%)という結果となった。

(注)2025年1~3月を前期、2025年4~6月を今期、2025年7~9月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2023年(令和5年)		2024年(令和6年)			2025年(令和7年)		見通し 2025年(令和7年)
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	
総合		☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️	☁️
製造業		☁️	☁️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️
卸売業		☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️
小売業		☁️	☁️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️
建設業		☁️	☀️	☁️	☀️	☀️	☀️	☁️	☀️
サービス業		☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☀️
不動産業		☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☔️	☀️

# 全業種

	2023年(令和5年)		2024年(令和6年)				2025年(令和7年)		見通し 2025年(令和7年)
	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月
業況	▲ 4.2	2.5	▲17.5	▲ 6.6	▲11.3	7.5	▲16.7	0.0	6.7
売上額	10.7	3.8	▲20.6	12.7	▲11.3	27.4	▲17.8	8.0	2.2
受注残	2.5	4.2	▲28.6	▲ 3.1	▲22.0	15.1	▲17.0	4.2	2.1
収益	▲ 4.2	▲ 7.6	▲24.4	5.2	▲13.4	15.1	▲24.7	▲11.2	0.0
販売価格	27.4	28.0	11.9	20.3	16.7	26.2	14.4	15.7	16.9
原材料価格	54.2	42.0	37.5	56.6	50.5	49.5	53.9	42.0	42.0
在庫	4.3	9.1	1.5	1.8	6.2	▲ 1.1	8.5	1.3	▲ 1.3
資金繰り	▲ 8.3	▲ 8.9	▲16.3	▲ 2.9	▲10.4	▲ 4.7	▲14.4	▲ 6.7	▲ 7.9
雇用(人手)	▲34.5	▲35.0	▲31.9	▲30.4	▲39.6	▲38.3	▲28.9	▲40.4	▲38.2
設備状況	▲14.3	▲15.4	▲13.6	▲15.9	▲17.8	▲17.2	▲20.0	▲14.6	▲14.6

## 設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた82社の動向です。

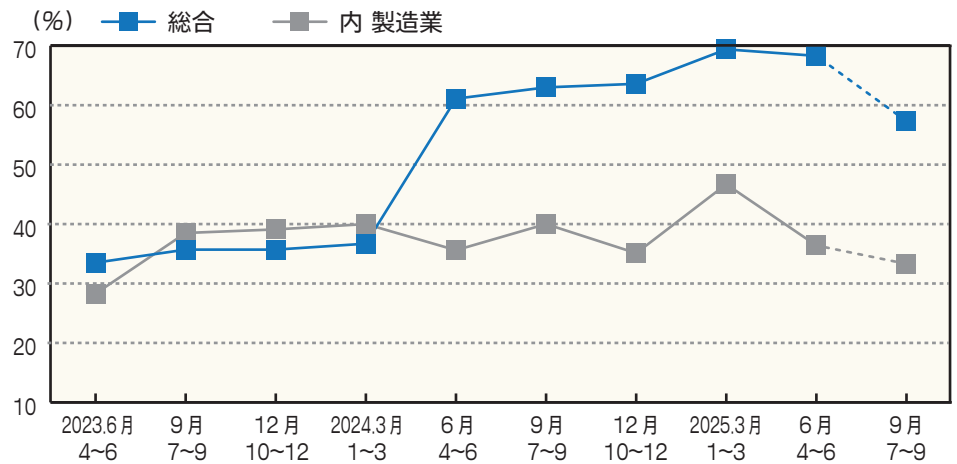
### ● 4~6月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数 56
	%	68.3	31.7
(内 製造業)	数	12	21
	%	36.4	63.6

(来期見通し)

		有	無
		総合	数 47
	%	57.3	42.7
(内 製造業)	数	11	22
	%	33.3	66.7

### ● 設備投資実施(予定)割合

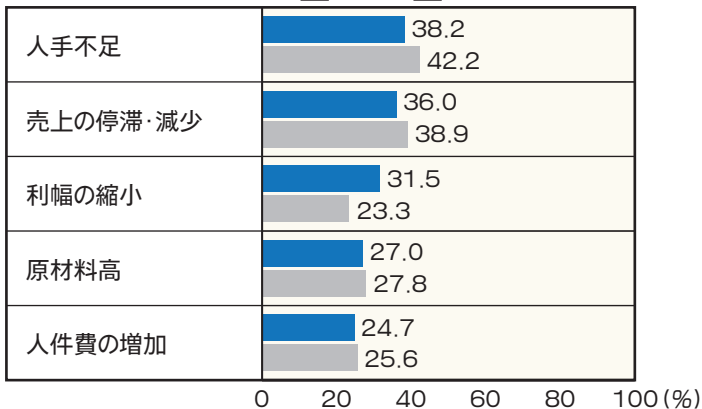


### ● 4~6月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	0.0	7.3	32.9	12.2
(内 製造業)	%	0.0	12.1	18.2	9.1	6.1	0.0

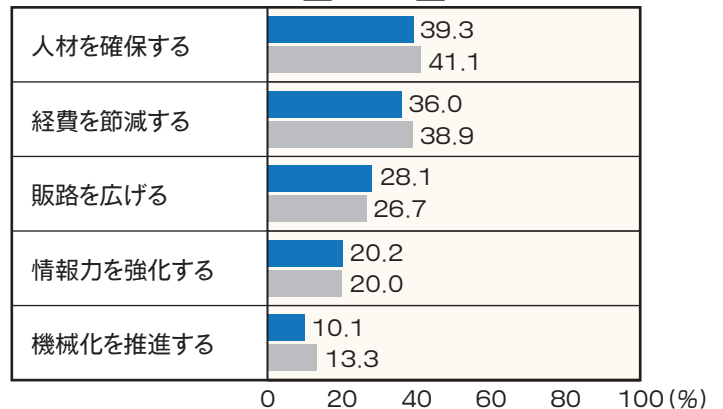
## 経営上の問題点

■ 今期 ■ 前期 (複数回答)



## 重点経営施策

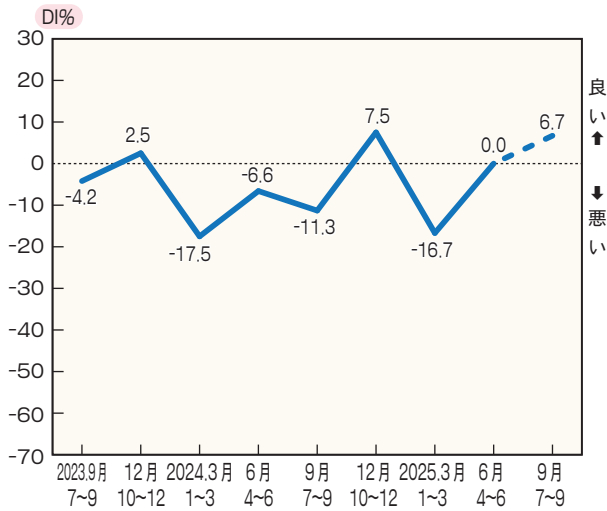
■ 今期 ■ 前期 (複数回答)



# 全業種

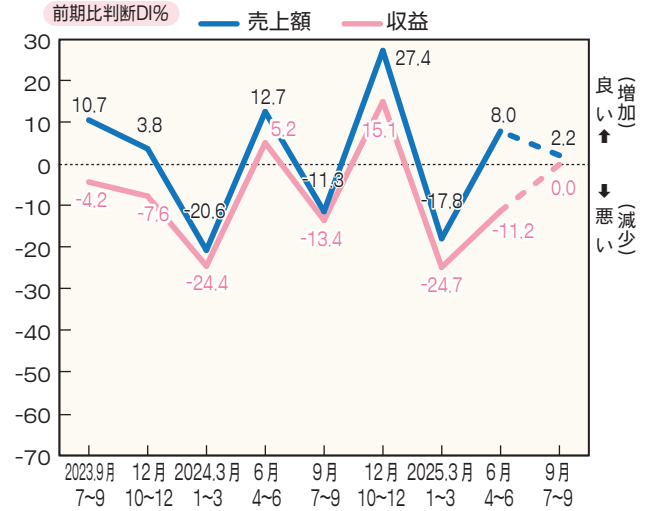
## 業況

前期から16.7ポイント改善し、  
来期は改善すると予想



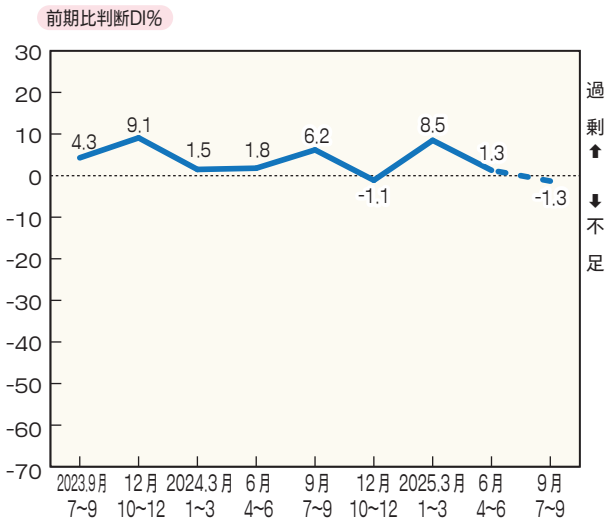
## 売上額・収益

売上額・収益ともに改善、来期は収益は改善・売上額は悪化すると予想



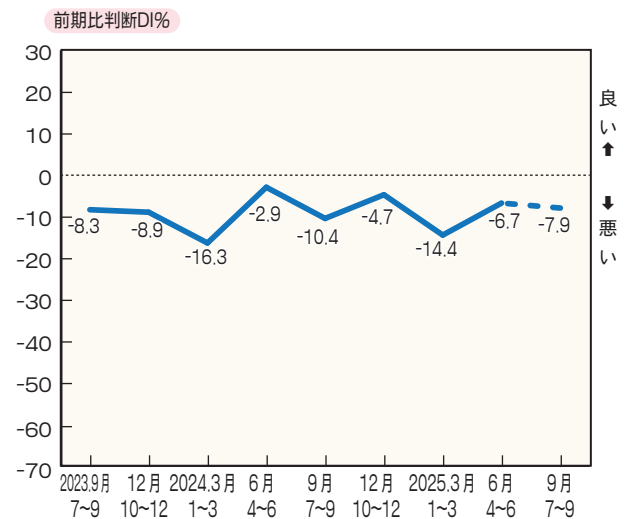
## 在庫

今期1.3(前期8.5)と  
在庫が不足する傾向にある



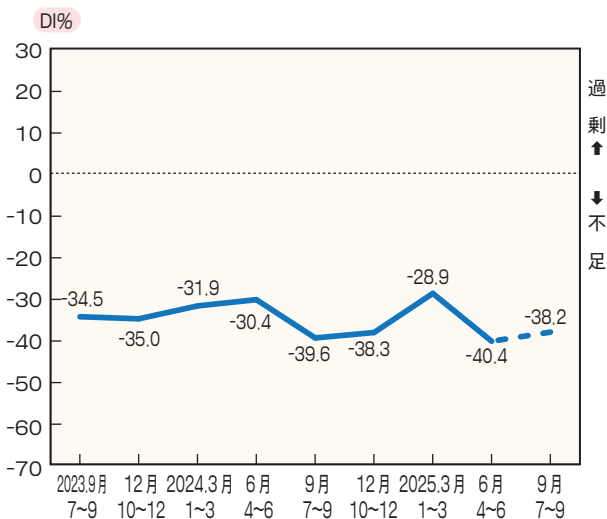
## 資金繰り

今期▲6.7(前期▲14.4)と  
改善するも、来期は悪化すると予想



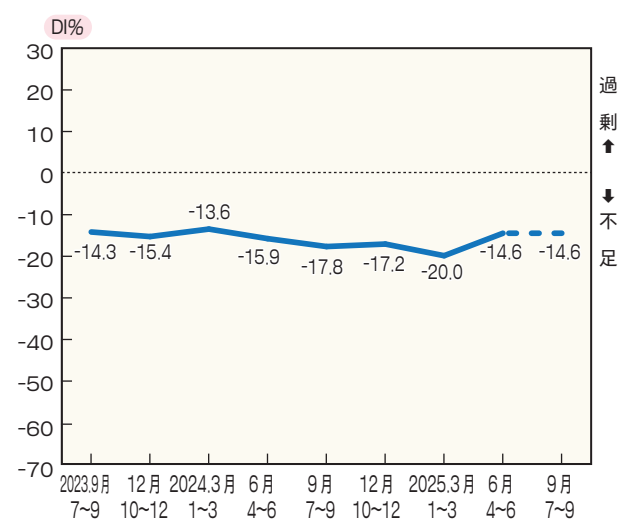
## 雇用

今期▲40.4(前期▲28.9)と  
悪化



## 設備の状況

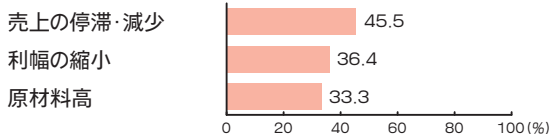
今期▲14.6(前期▲20.0)と  
▲10.0以下を維持



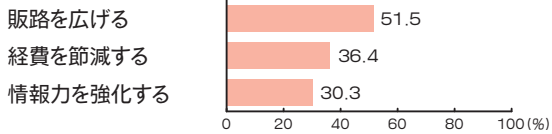
# 製造業

売上額・収益は改善、業況は悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



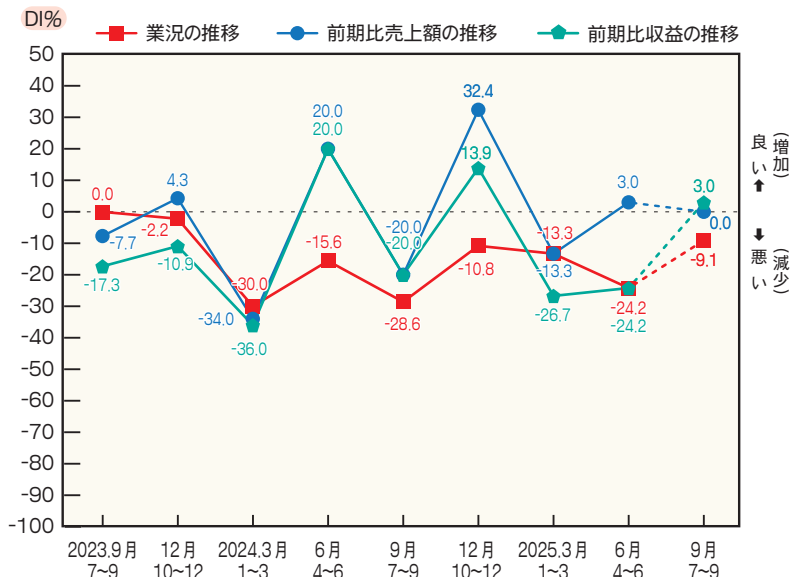
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	△6.1
収益	△25.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	9.1%
借入の予定	18.2%

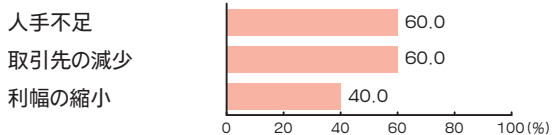
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



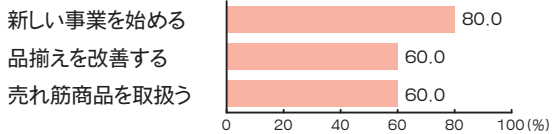
# 卸売業

業況・売上額は改善、収益は悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



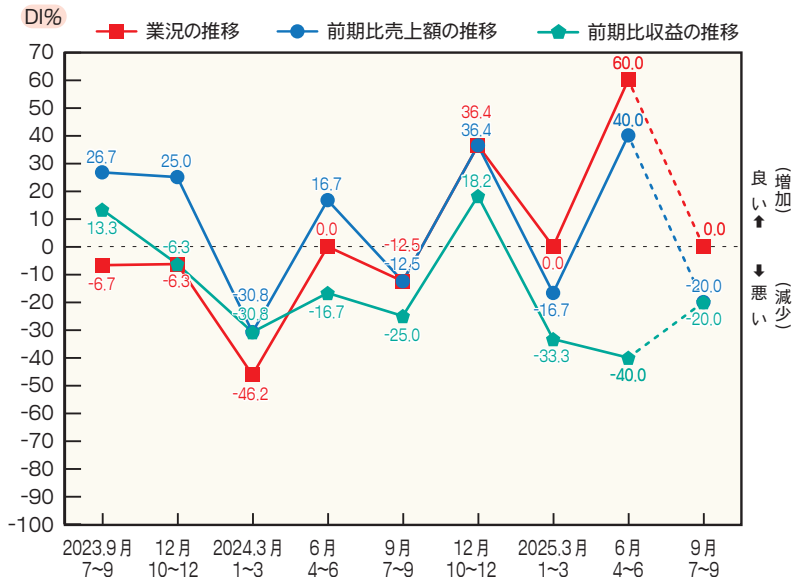
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	80.0
収益	40.0
販売価格	80.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	20.0%
借入の予定	0.0%

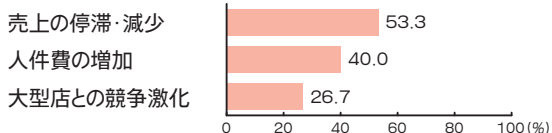
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



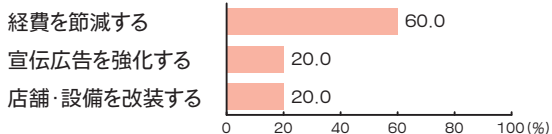
# 小売業

業況・売上額・収益ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



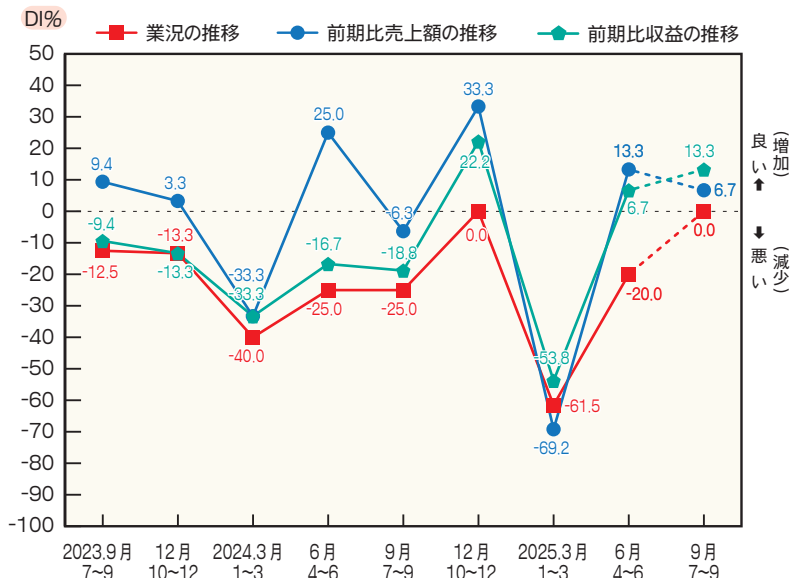
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	△26.7
収益	△40.0
販売価格	26.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	33.3%
借入の予定	20.0%

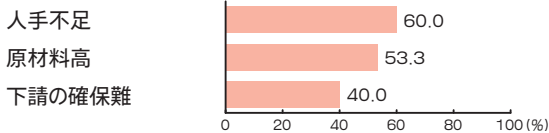
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



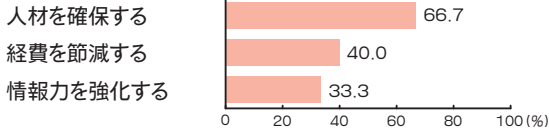
# 建設業

業況は改善、売上高・収益は悪化

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



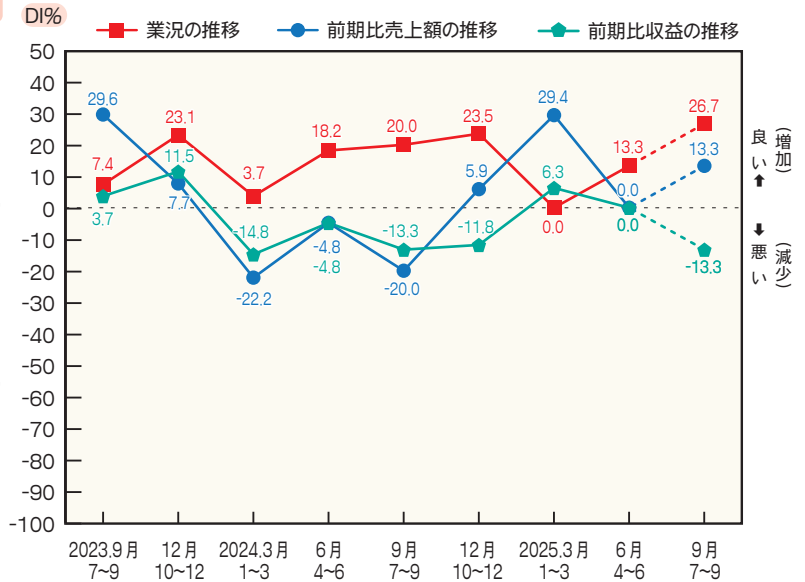
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	△13.3
収益	0.0

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	33.3%
借入の予定	33.3%

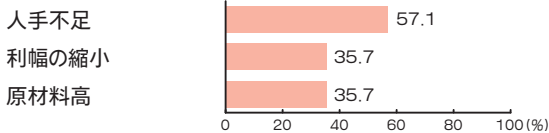
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



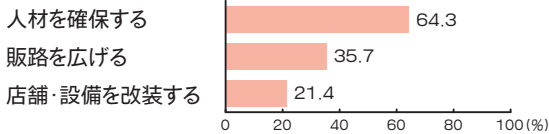
# サービス業

業況・売上額・収益ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



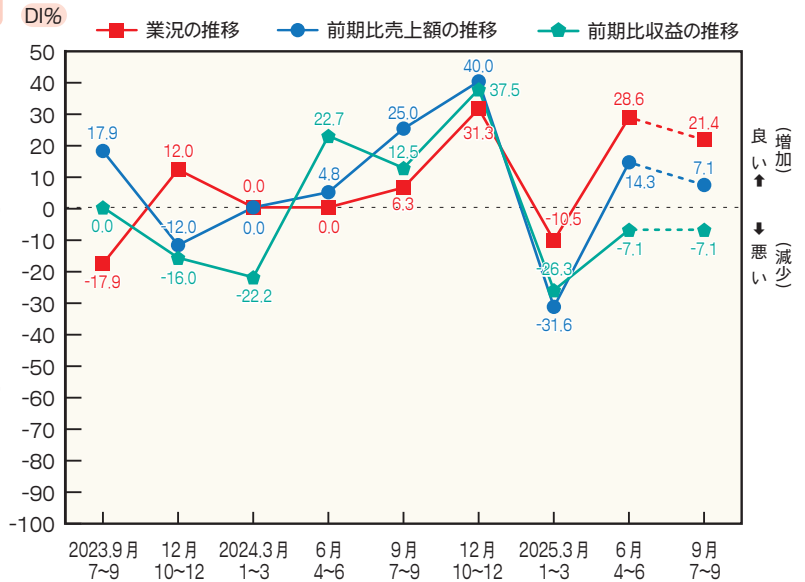
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	21.4
収益	14.3

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	28.6%
借入の予定	7.1%

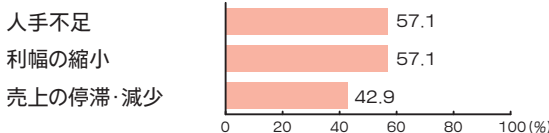
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



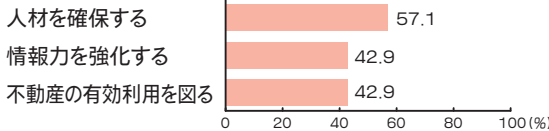
# 不動産業

業況・売上額・収益ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



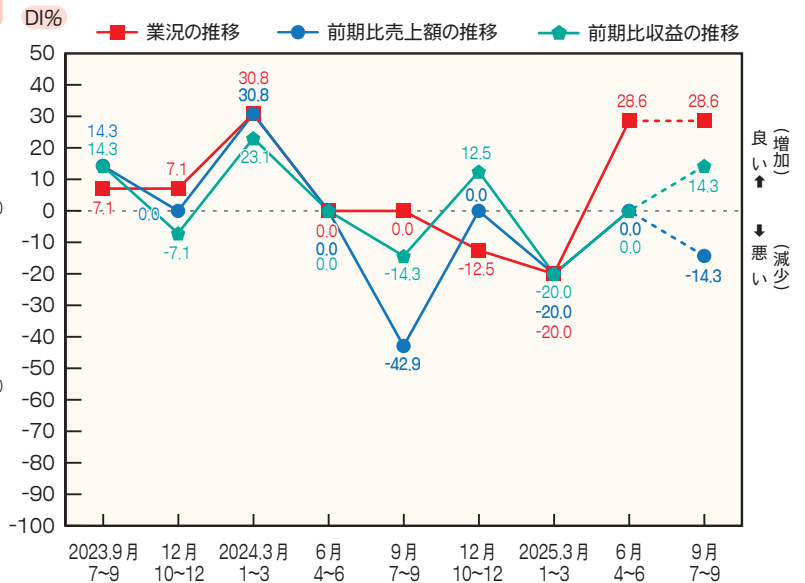
## ◆ 昨年同時期(2024年4~6月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△14.3

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	57.1%
借入の予定	42.9%

## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



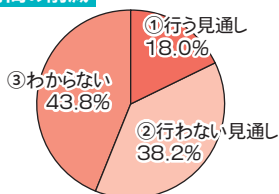


# 特別調査 5年後(2030年)以降を見据えた中長期的な経営について

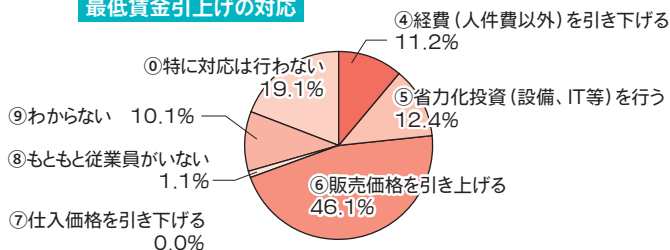
89社に調査し回答をいただいたものです。

**1** 最低賃金について、現行の1,055円(全国加重平均)が仮に1,500円となった場合、貴社では雇用や労働時間の削減を行う見通しですか。①～③の中から1つ選んでお答えください。また、貴社における雇用や労働時間以外に考えられる対応策について、④～⑩の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

### 雇用や労働時間の削減

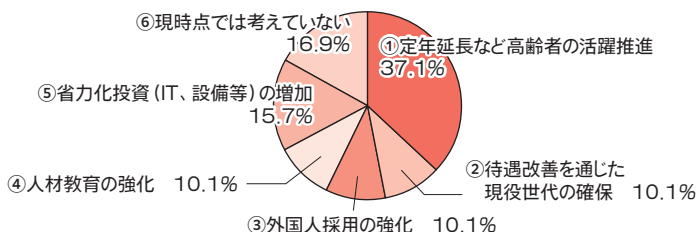


### 最低賃金引上げの対応

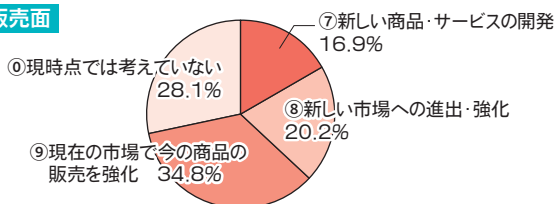


**3** わが国では、2030年以降も人口の減少や高齢化の進展が見込まれていますが、これらに対して貴社ではどのように対応していきたいと考えていますか。生産面については①～⑥の中から、販売面については⑦～⑩の中から、当てはまるものを1つずつお選びください。

### 生産面

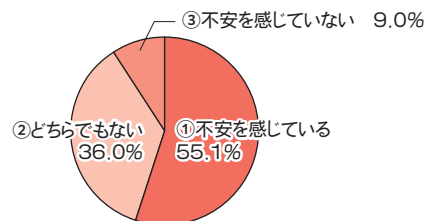


### 販売面

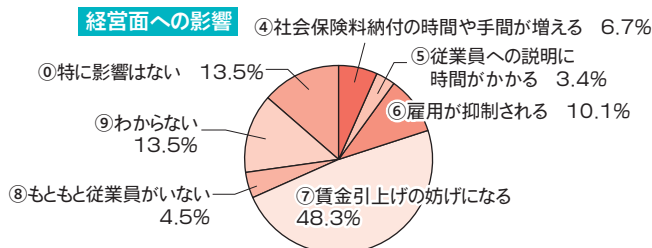


**2** 企業における社会保険負担(適用範囲や納付額の上昇)の増加が今後も見込まれますが、この流れについて、経営面での程度の不安を感じていますか。次の①～③の中から当てはまるものを1つお選びください。また、経営面への影響について考えられることを④～⑩の中から1つお選びください。

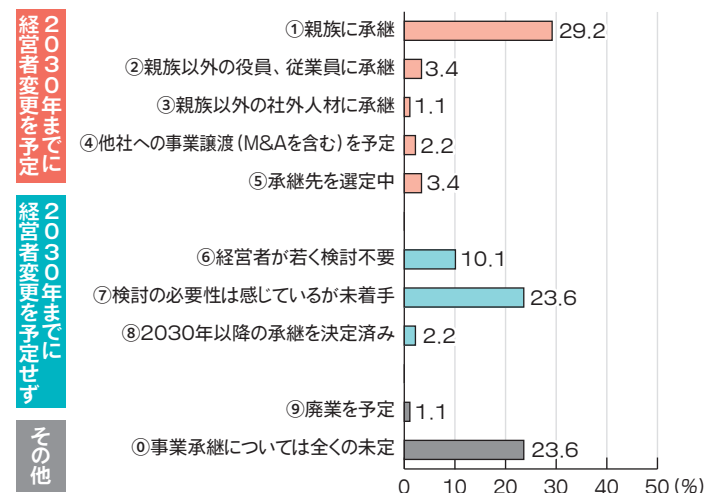
### 不安感



### 経営面への影響



**4** 貴社における5年後の2030年を見据えた事業承継の状況について、2030年までに経営者の変更を予定している人は変更先を①～⑤の中から、予定していない人は貴社の状況を⑥～⑩の中から、1つ選んでお答えください。



**5** 貴社では、SDGs(2030年を目途とした持続可能な開発目標)にかかる以下の①～⑨の取組みを行っていますか。もっとも取組んでいるものを最大3つまで選んでお答えください。取組んでいない方は⑩とお答えください。

### 生産面

